



くどうなおこ
工藤直子

まぶだち・ちび竜

わたしは「ひと」に生まれました

だから「ひと」と なかよしで すべ「友だち」になります

わたしは「ひと」でない みんなとも 友だちになりたいな と

思っています とり とか ちようちよう とか カマキリ とかね

わたくも とか ケヤキ とか そよかぜ ともね

とりわけ わたしは 空想から 生まれた 友だちが ほしかった

とくに「りゅつ」と 友だちになりたかった！ それも「まぶだち」に！

「まぶだち」って「ほんとうの友だち」という いみなんだよ

というわけで いつも空想しているうちに「ちび竜」がうまれました

ちび竜のことをした あべ弘士さんが おー いいじゃん！ と

ちび竜の「まぶだち」に なってくれて

ちび竜のすがたを いっぱい いっぱい えがいてくれました

そうやって生まれた ちび竜は

ちびだつたり でかかつたり そして かわいくて カッ「いー！

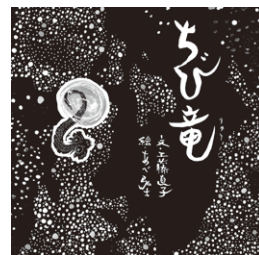
みなさんも ちび竜と「まぶだち」に なってほしいなあ

ちび竜と いっぱい あそんでほしいなあ と とても思っています

・おーい ちび竜 しまいにいなくなるんだい？

『ちび竜』刊行に寄せて

先月刊行された絵本『ちび竜』。壮大な物語と、迫力ある絵の本作について、作者のお2人に、作品への思いをお寄せいただきました。



ちび竜
工藤直子／文
あべ弘士／絵
本体1,700円＋税

やさしい竜の描き方

知りませんでした。

竜が、雨つぶから生まれてくるなんて。

そしてポウフラと友だちだなんて。

私のアトリエの庭に、バケツやら鉢やらタライやらがあって、その中が水たまりになっていて、蚊が卵を産んで、ポウフラがうじゃうじゃいたんだけど、もしかしてその中に竜の赤ちゃんがいたのかもしれないな。こんど見つけて、飼育したい。赤ん坊竜がすこし大きくなって、タンポポの綿毛につかまり、空中散歩する。

クモが自分の糸を空中高く飛ばして、それにつかまり遠くへ移動する。だからこの話は正しい。

トンボに飛び方を習う。このトンボはギンヤンマでなくちゃいけない。なぜなら私の、一番好きなトンボです。

さて、竜はどんどん大きくなる。フナに水界のことを、モグラに土界の術を習う。シカと角合戦する。入道雲の上を三段跳びだ。

ますます、どんどん、すすん、めきめき、巨大化し、とうとう……なんと……。

「地球」を抱いて宇宙空間に浮いているのではありませんか。

私、負けずと絵を描きました。

工藤直子のお話は、いつも壮大でやさしい。そうこの巨大な竜も言っている。「いつも きみの心の中に」「おーい」とね。実にやさしい。



ひろし
あべ弘士